

ISO14001 内部環境監査を実施しました

9月5日（月）～7日（水）に ISO14001 内部環境監査を実施しました。

内部環境監査は、年に一度 ISO14001 に基づく環境マネジメントシステム（EMS）が正しく運用されているかという視点に加え、有効に機能しているかを確認するために行います。

監査は部局の環境推進リーダーが中心となって行いますが、有志の学生も参加しています。学生監査員は事前に外部講師及び本学の教員より研修を受け、ISO14001 の規格及び監査における着眼点や不適合事項の特定など監査の手法について学び、監査チームごとにチェックリストを作成して監査に臨みます。

今年度は15名の学生が職員とともに監査に参加しました。学生からは「安全の手引きが作成、更新されていたが、それを学生に伝える工夫をしてほしい」「部局ごとに工夫して節電対策を行っている」「協力して残業を減らす取り組みを行っている」など良いところを含め例年より多くの意見が寄せられました。全体として不適合事項はありませんでしたが、改善の機会となる意見が5件あったため、対応していきます。

監査に参加した学生からは「日常では知ることのできない大学の取り組みや運営のシステムについて確認することが出来た」「監査は良くないことの指摘ではなく、状況を確認してよりよい環境を作るためのフォローアップの場だと分かった」「研修と監査で得た知識と経験は、将来社会に出たときに役立てたい」などの感想が寄せられました。

【研修の様子】



【内部環境監査の様子】

